

2024 年総選挙アピール

2024 年 10 月 21 日

医療法人葵会常務会

職員・共同組織のみなさんへ

石破首相は、国会を 10 月 9 日に解散し、15 日公示・27 日投開票で総選挙することを決めました。これは国民が求める裏金事件や統一協会と自民党との癒着の徹底解明、能登の地震・豪雨災害への補正予算など、重要な国会審議にフタをするものです。

医療機関、介護事業所の経営状況は、かつてない困難に直面しています。長引いたコロナの影響で医療・介護現場は疲弊し、異常な物価高騰の進行もあり、医療・介護経営の基盤は揺らぎ、医療崩壊・介護崩壊といえる状況が生まれています。

医療機関の倒産件数は、2024 年 8 月末時点で 46 件と、前年の年間件数（41 件）をすでに上回っています。介護事業者の倒産件数は、2024 年上半期（1～6 月）に 81 件と、介護保険法が施行された 2000 年以降で最多を更新しています。業種別の倒産件数は、訪問介護が 40 件、デイサービスなど通所・短期入所介護事業が 25 件、有料老人ホームが 9 件と、いずれも前年同期を上回っています。今の政治が続けば、地域から病院や介護事業所がなくなってしまいます。

医療難民、介護難民が生まれます。相次ぐ消費税増税、年金削減、社会保険料の負担増を国民に強いながらアメリカの圧力に屈して 5 年間で 43 兆円の大軍拡を進める政治は間違っています。

棄権は現政権を容認したことになってしまいます。必ず投票して意思表示しましょう。

平和・いのちが大切にされる社会、安心してかけられる医療・介護めざして一人ひとりの行動で政治を変えましょう。

以 上